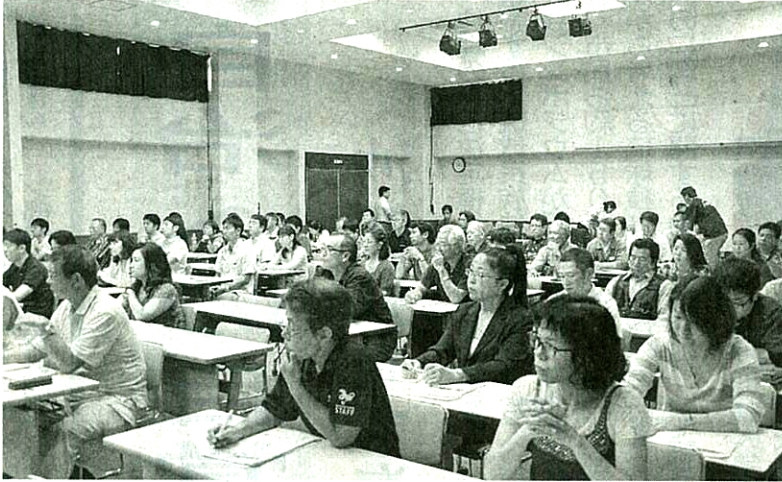


講演に聞き入る参加者=19日、那覇市の県青年会館



渡嘉敷村の国立沖縄青少年交流の家(佐藤良一所長)は19日、那覇市の県青年会館で「体験の風をおこそう フォーラムin沖縄」を開催した。県内の学校教育関係者、青少年団体関係者ら120人が参加した。

「体験」の重要性発信

渡嘉敷・国立青少年交流の家 専門家らが討論会

那 覇



基調講演をする平田大一さん=19日、那覇市の県青年会館

「感動を財産に」 平田氏が基調講演

子どもたちの健やかな成長にとって、自然体験、社会体験、生活体験などの体験がいかに重要であるかを、各分野の専門家が広く家庭や社会に発信することが目的。はじめに、平田大一(文化振興会理事長)が「感動体験が人をつくる、未来をつくる」と題し基調講演を行った。平田氏は「沖縄の財産に感動産業をつくり出していき

開氏は「体験活動の機会を提供しその効果について、張本氏は「体験活動の意義を再考する」、黒木氏は「学校における体験活動実施の重要性や課題について」をそれぞれ発表、その後、平野貴也(名城大学准教授)がコーディネーターを務め活発なディスカッションが行われた。参加者からは「体験活動が子ども心に生きる種子をまいている。大人として、今できることを考えていきたい」との声が寄せられた。(米田英明渡嘉敷通信員)